

## 動物愛護ふれあい写真コンクール 渡邊 陽さんが特賞を受賞



渡邊さんの作品「にらめっこ」

栃木県動物愛護指導センター主催で行われた「動物愛護ふれあい写真コンクール」において、那須町の渡邊陽さん（下芦野）が特賞を受賞しました。

コンクールには全41点の応募があり、審査により渡邊さんの作品「にらめっこ」が見事特賞に選ばれました。

渡邊さんの作品を含む、全応募作品は動物愛護ふれあい写真展にて展示されていますので、ぜひ足をお運びください。

### ■展示期間・展示場所

○2月7日(金)～3月13日(木) 午前9時30分～午後4時  
(月曜日は休館日になります)

栃木県動物愛護指導センター 愛護館 ロビー

○3月15日(土)～3月27日(木)

栃木県庁15階展望ギャラリー

■問合せ 栃木県動物愛護指導センター ☎028-684-5458

## 三森 浩さん(上下田) 柔道紅白帯取得!!

町体育協会副会長兼柔道専門部長の三森浩さん(6段)が、柔道の紅白帯を取得しました。紅白帯は黒帯の上の段位で、那須町内での保有者はただ一人です。三森さんは、長年、町体育協会の柔道部長として後進の指導に尽力され、近年では公教育武道必修化に伴い、町内の各中学校においても指導されています。



## 那須の歴史余話 (24)

### 助さんと那須

佐々宗淳は、江戸時代前期の

僧、儒学者。水戸藩主徳川光圀に仕えた人物で、号は十竹、字は子朴、通称は介三郎という。物語「水戸黄門」に登場する佐々木助三郎のモデルとされている。ちなみに格さんは、安積寛兵衛という人物である。水戸黄門では、そのほかに風車の弥七やうっかり八兵衛などが登場するが、弥七は旧緒川村(現常陸大宮市)に墓がある。

父佐々直尚、母(大木兼能の娘)の五男として生まれ、戦国武将・佐々成政の実姉の曾孫にあたる。

承応3年(1654)15歳のときに京の臨濟宗妙心寺の僧となり、「相淳」と号した。延宝元年(1673)、34歳のとき選俗。江戸に出て翌延宝2年9月、水戸藩に仕官し進物番兼史館編修となる。光圀はその大胆さと見識を愛して側近として用いたという。

光圀のもとで『大日本史』の編纂に携わった彰考館史臣の中心人物の一人であり、とりわけ史料収集に多く携わった。これは京や奈良に関わり深い経歴にもよるものでもあるが、各地を歴訪して古典・文書を探索し、その真偽を鑑定す

る学力を有しているとされたためである。特に延宝8年(1680)の「高野山文書」、天和元年(1681)の「東大寺文書」の調査は、古文書研究の上でも後世に大きく貢献することとなった。

また、那須地方との関係では、那須国造碑の修復と調査を行い、碑文の解釈に努め、侍塚古墳の発掘調査では現地監督を行っている。

元禄元年(1688)、史館総裁に任ぜられ、元禄9年(1696)には史館総裁を辞任。その後は西山荘の光圀に近侍し、近くの不老沢に居を構えた。元禄11年(1698)、不老沢の宅にて死去。享年59(満58歳没)。墓は常陸太田市の北に位置する正宗寺にある。正宗寺は、常陸太田を拠点とした佐竹氏の菩提寺で、宗淳の墓の近くには佐竹氏歴代の墓地もある。テレビでの人物像と実像との違いもまたおもしろい。



正宗寺の佐々宗淳の墓